

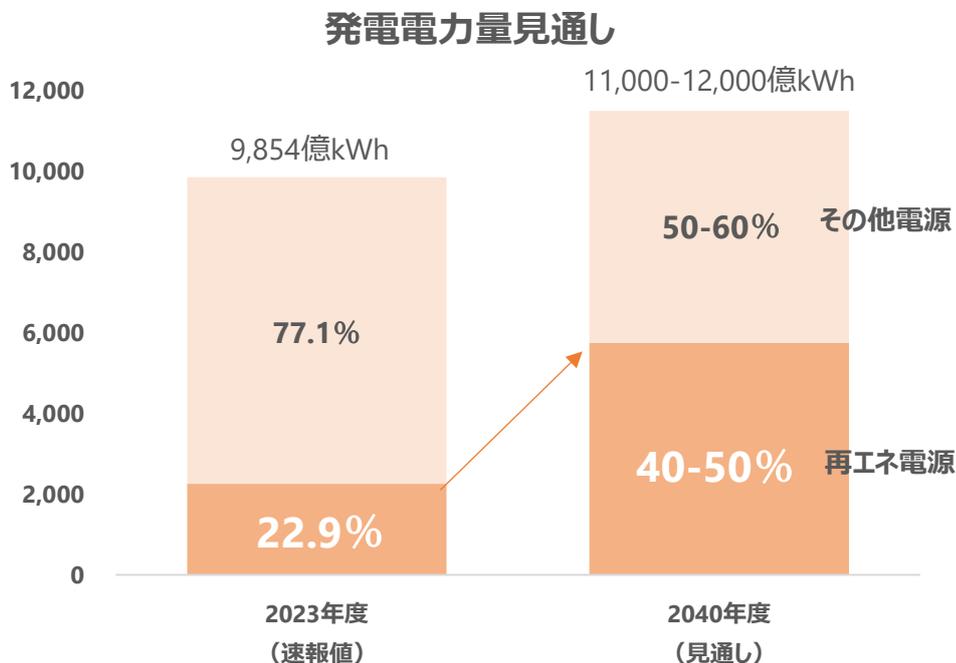
当社アグリゲート事業の戦略について

イーレックス株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長：本名 均 以下、「当社」）は、今後アグリゲート事業を展開してまいります。

2025年2月に閣議決定された第7次エネルギー基本計画では太陽光や風力等の再生可能エネルギーの比率が増加することが発表されました。そのような中、当社は国内の既存小売事業に加え、新たな事業の柱として国内外の戦略的パートナーとアグリゲート事業で協業してまいります。以下、現時点での当社アグリゲート事業戦略についてお知らせいたします。

1. 国内の事業環境

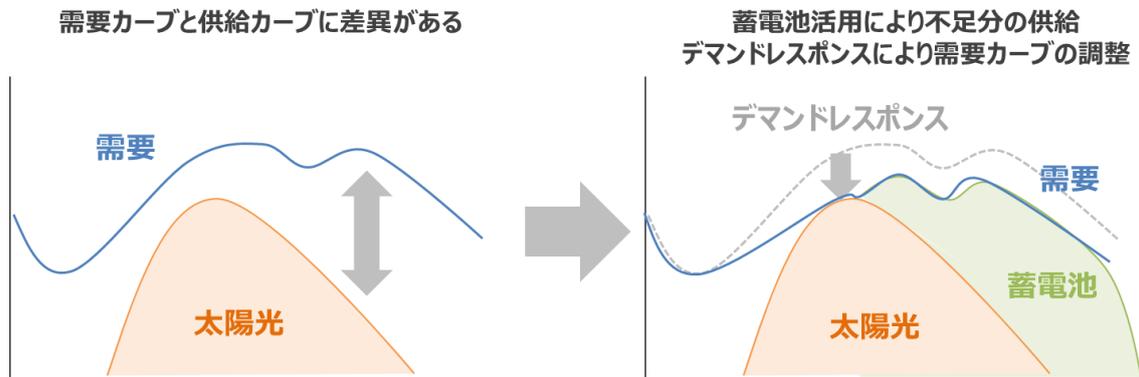
2025年2月に第7次エネルギー基本計画が閣議決定されました。2023年度（速報値）の発電電力量9,854億kWh、再エネ比率22.9%に対し、2040年度には発電電力量が11,000～12,000億kWhに増加、再エネ比率も40～50%程度に高まる見通しが示されました。



（出典）令和7年2月資源エネルギー庁 エネルギー基本計画の概要「2040年度におけるエネルギー需給の見通し」より当社作成

2. アグリゲート事業のニーズの高まり

今後、太陽光や風力等の再エネ電源が主力化する中において、安定した電力供給には、電力の需給バランスの調整が重要です。



また、大口需要家を中心に再生エネ電源の調達ニーズが高まっています。このような背景から、アグリゲート事業は今後不可欠なものとなり、市場が拡大すると想定されます。



3. 当社の強み

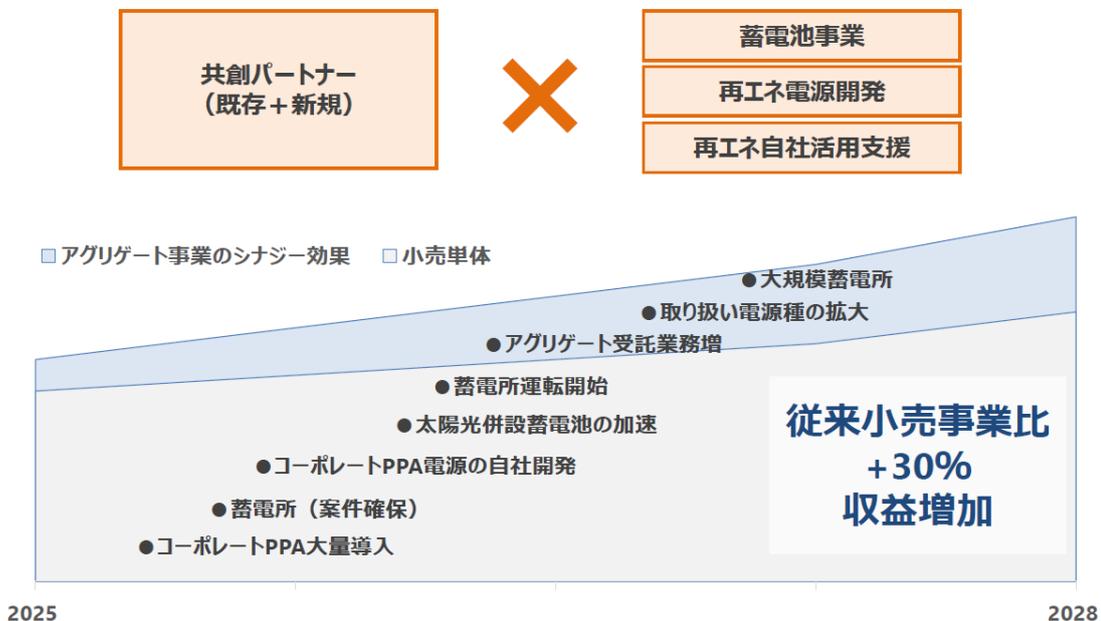
アグリゲート事業には、需要家営業、再生エネ電源の開発・運営、発電・需要予測・制御の機能が必要ですが、当社はすでに既存事業においてこれらのノウハウを所有しております。小売事業においては多様なプラン開発とデマンドレスポンスの知見から高度な需給管理能力と需要家パイプラインを有しております。トレーディング事業では 2005 年の日本卸電力取引所（JEPX）の開始時からの事業に取り組んでおり、変動する電力市場に対応する柔軟性と知見があります。また、これまで太陽光や風力等含む複数の再生可能エネルギーの調達実績があります。さらに、発電事業ではバイオマス発電所の開発・運転実績があり、発電リソースの開発と効率的な管理運用能力を有しております。このようなノウハウを活かし、アグリゲート事業を展開してまいります。



4. 当社の小売およびアグリゲート事業

当社は国内外の戦略的パートナーとともに、アグリゲート事業を進めてまいります。具体的には、蓄電池事業や再エネ電源開発、自社所有の再エネ活用支援等を検討してまいります。従来の当社の小売事業とアグリゲート事業のシナジー効果により事業収益の抜本的向上を目指してまいります。

小売 + アグリゲート事業での共創加速により小売収益を抜本的に向上



■ 報道関係者お問い合わせ先

イーレックス株式会社 IR 広報部

TEL:03-3243-1167 FAX : 03-3243-1184

E-mail : pr.info@erex.co.jp